

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
商品知識 Goods KnowLedge		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ビジネスデザイン科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ビジネスデザイン科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟3F	授業内に指示する		授業中に指示します
授業の概要				
商品の材料、製造法、品質、価格、流通、購入法など、グローバル社会になった今日、ますます多様化している。素材・品質・取扱い・流通などの多種多様な側面を理解しておくことは重要である。消費者・生活者・販売員としてトラブルに巻き込まれない健全な生活の知識を持つことを目指す。				
授業の目標				
素材の品質、品質管理活動、物流管理について説明できるようにする。消費者・生活者・販売員として消費社会の多様なトラブルを未然に防ぐ知識を持つことができるようにする。消費生活アドバイザー的知識を持てるようにする。				
授業の方法				
実物資料等で素材・構成法・品質・取扱いなどの理解を深める。類似品との差異を確認し、適正価格の理解を深める。今日の問題事例やクレーム処理の実例を紹介しながら進める。テーマごとに調査・確認・発表で、課題提出する。				
学習の成果(学習成果)				
適切な商品知識を持ち、素材選びや品質管理ができる。ファッション関連商品の販売業務のクレームなどの相談にのることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション、生活用品の購入について、体に優しい商品・生活について			
第2回目	衣料素材の理解 ① 素材の選別、表示、天然素材			
第3回目	衣料素材の理解 ② 素材の選別、表示 化学繊維 不織布の素材、異素材構成			
第4回目	ブランド知識 衣服デザインと価格、美しさと品質、加工			
第5回目	ブランド知識 情報から読み解く			[調査・レポート]
第6回目	食品の価格 美味しさ、品質表示、加工、包装、保存			

第7回目	食の問題 加工食品 安全性
第8回目	低価格商品、 商品価格の付け方、 雑貨・生活用品の品質と加工、価格との関係
第9回目	企業の対応、行動情報、消費者保護 新聞記事確認
第10回目	企業見学 [イオン視察](案)
第11回目	消費生活と消費者教育、商品テスト、環境問題、リサイクル問題
第12回目	洗濯・クリーニングのマークと取扱い、クリーニング事故例
第13回目	最近の問題事例から、 地域の「消費者センター」について
第14回目	インターネットの落とし穴、 契約トラブル [小テスト]
第15回目	ライフプランの知識、 I Tの問題、 まとめ

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	実習を交えた授業に、まじめに取り組み、教員の設問にきちんと理解し、自らの考えをまとめることができたかなどを評価する。
レポート	30%	課題に対し、適切に調べまとめているか。期限に提出されたかを評価する。
調査報告書		
小テスト	30%	内容が理解できていたか、評価する。
試験		
発表内容（態度含む）	20%	テーマに沿って、わかりやすく発表されていたか。内容に自分の意見等が組み込まれていたかなどを評価する。
その他		

教科書と参考図書

教科書：① 2017生活ハンドブック（第1学習社） ②ハンドブック消費者2014
 参考書：③消費生活アドバイザー通信講座テキスト

履修上の留意点・ルール

短期間に広範囲の内容を学習するので、資料に基づいて復習を十分行う。日頃から、商品の素材や品質、ラベル表示に関心を持ち収集しておくこと。新聞等の記事により関連する内容の最新情報の収集に心がける。